

社会保障カード(仮称)に期待される役割

- 年金記録管理の在り方を抜本的に見直し、常にその都度、国民がご自身の年金記録を確認でき、年金の支給漏れにつながらないようにする。
- 他人に内容が見られないよう、十分なセキュリティを確保した上で、1人1枚の社会保障カード(仮称)を導入する。このカードは、年金手帳・健康保険証・介護保険証の役割を果たす。
- 希望者には、顔写真を添付し、身分証明書としても使用可能なものとする。
- 希望する個人が健診情報等の健康情報の閲覧・管理に役立てることが可能となるようにする。

※ 「年金記録に対する信頼の回復と新たな年金記録管理体制の確立について」
(平成19年7月5日 政府・与党)

※ 「重点計画-2007」(平成19年7月26日 IT戦略本部)